

積算

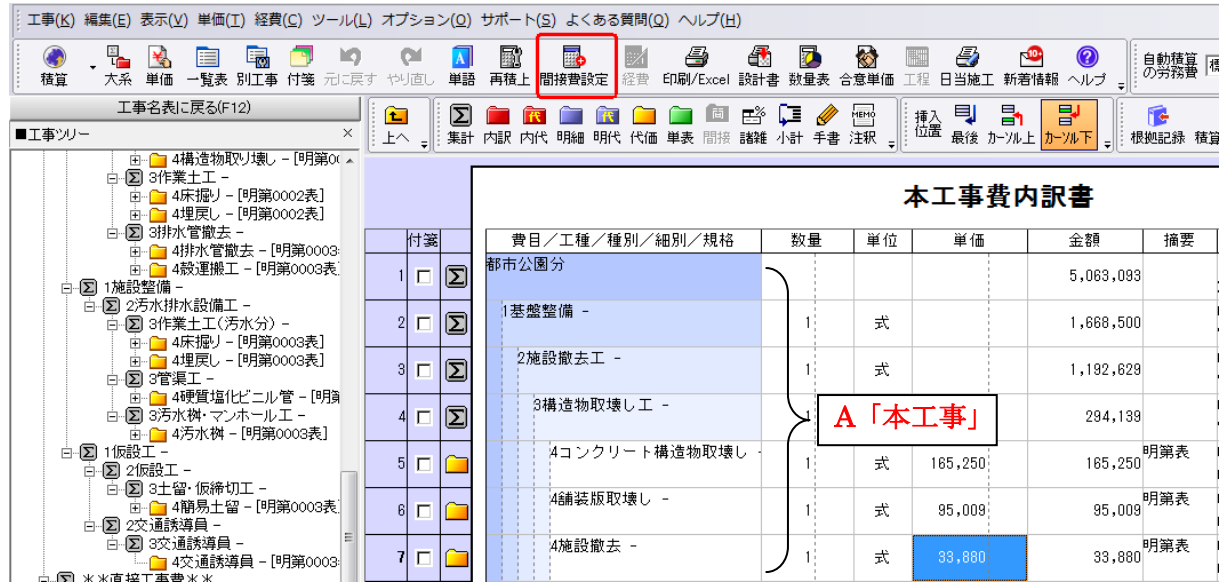
(紐付け)

合算工事の紐付

各工区ごとに紐付設定を行います。
例として、A「本工事」とB「付帯工事」でご説明します。

1. A「本工事」の紐付けを行う

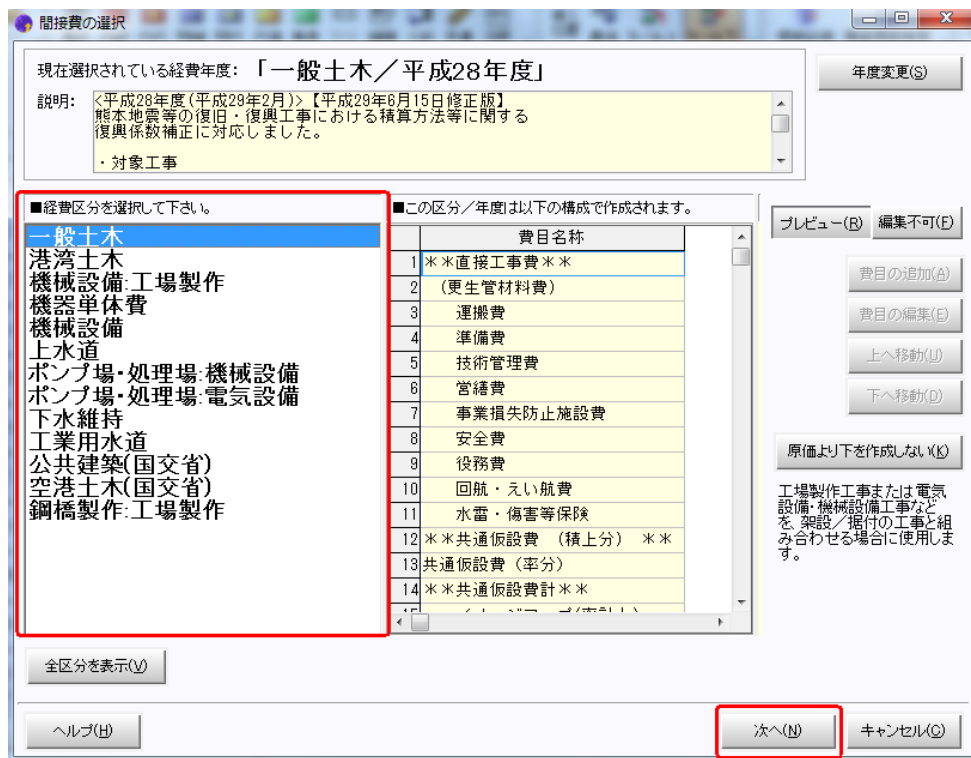
A「本工事」の直接工事費内の行をクリックした状態で、 をクリックします。



費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金額	摘要
都市公園分				5,063,093	
1 基盤整備 -	1	式		1,668,500	
2 施設撤去工 -	1	式		1,192,629	
3 構造物取壊し工 -	1			294,139	
4 コンクリート構造物取壊し	1	式	165,250	165,250	明第表
4 舗装版取壊し -	1	式	95,009	95,009	明第表
4 施設撤去 -	1	式	33,880	33,880	明第表

2. 経費区分の選択

該当の経費区分を選択し、右下の「次へ」をクリックします。



現在選択されている経費年度: 「一般土木/平成28年度」

説明: <平成28年度(平成29年2月)>【平成28年6月15日修正版】
熊本地震等の復旧・復興工事における積算方法等に関する復興係数補正に対応しました。
・対象工事

■経費区分を選択して下さい。

- 一般土木
- 港湾土木
- 機械設備:工場製作
- 機器単体費
- 機械設備
- 上水道
- ポンプ場・処理場:機械設備
- ポンプ場・処理場:電気設備
- 下水維持
- 工業用水道
- 公共建築(国交省)
- 空港土木(国交省)
- 鋼橋製作:工場製作

■この区分/年度は以下の構成で作成されます。

費目名称
1 **直接工事費**
2 (更生管材料費)
3 運搬費
4 準備費
5 技術管理費
6 管轄費
7 事業損失防止施設費
8 安全費
9 役務費
10 回航・えい航費
11 水雷・傷害等保険
12 **共通仮設費(積上分)**
13 共通仮設費(率分)
14 **共通仮設費計**

次へ

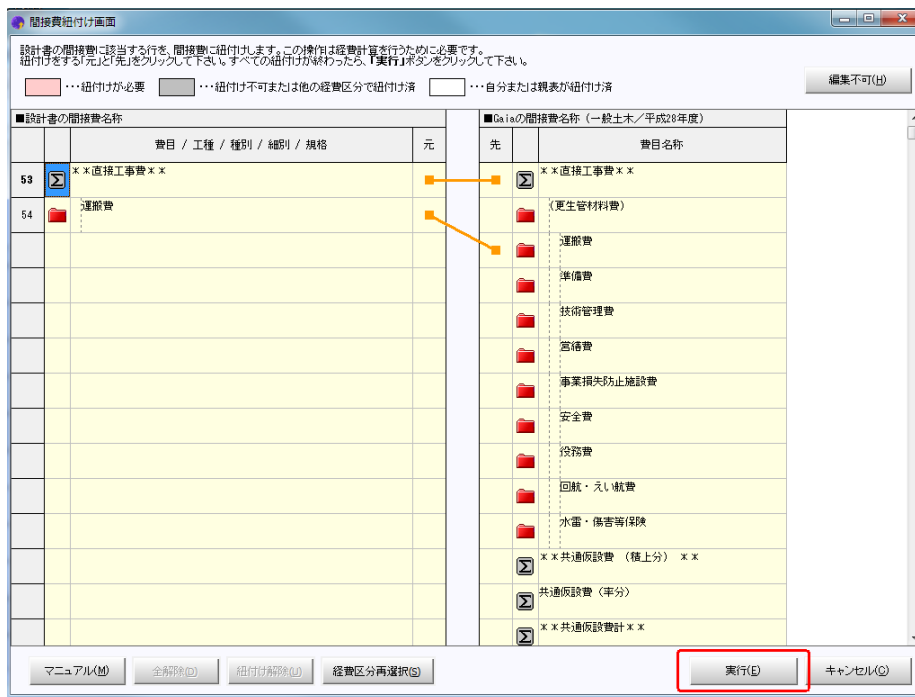
3. 紐付け画面で設定する

「間接費紐付け」画面が表示されます。画面左側に取り込んだ設計書の間接費項目が表示されます。画面右側に Gaia の間接費項目が表示されます（赤色の行が、紐付けが必要な行です）。

赤色の行が存在しない場合：紐付け設定の変更が不要な場合は、そのまま [実行] をクリックします。

赤色の行が存在する場合：紐付け設定を行ってください。「間接費紐付け」画面の左下[マニュアル]ボタンを押すと、画像付きの手順書が表示されます。

P3-8～P3-11 をご参照ください。



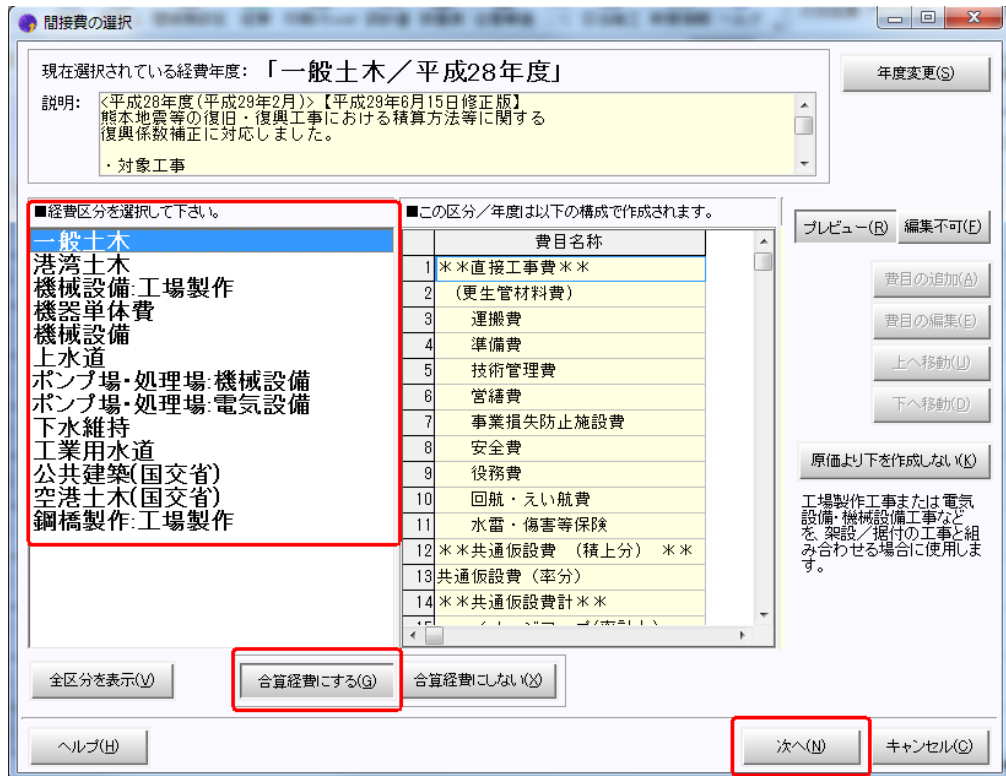
4. B「付帯工事1」の紐付けを行う

操作手順 1.～3.と同様です。

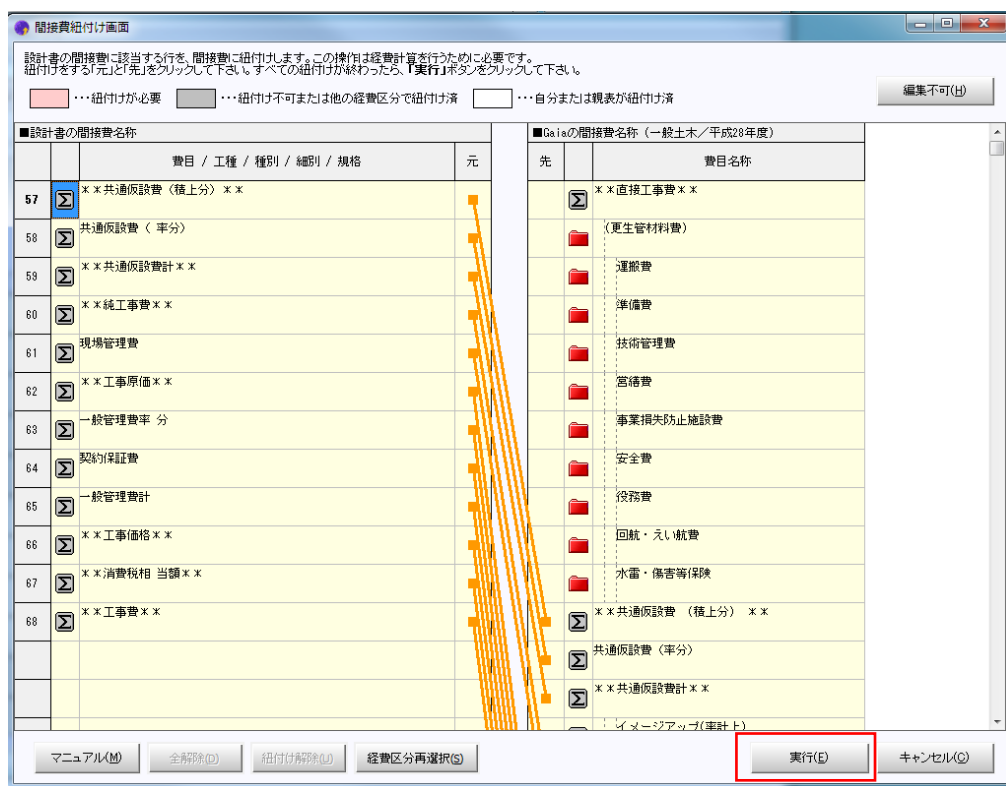
B「付帯工事1」の直接工事費内の行をクリックした状態で、 をクリックします。

続いて経費区分を選択します。

「間接費の選択」画面でA「本工事」で作成した間接費と同じ区分をクリックします。画面下の「合算経費にする」を選択し、「次へ」をクリックします。



紐付けを確認して、右下の「実行」をクリックします。



※3 工区目以降もある場合は、手順 4.と同じ操作を繰り返します。

3 工区目以降は、「間接費の選択」画面の「合算経費にする」が選択済みの状態になっています。

5. 経費計算を行う

合算経費計算を行います。ツールバーの



をクリックします。

The screenshot shows the software interface with the '経費' button highlighted in the toolbar. Below it, the '本工事費内訳書' (Main Work Cost Breakdown) table is displayed. The table has columns for '付築' (Construction), '費目/工種/種別/細別/規格' (Item/Trade/Category/Sub-category/Specification), '数量' (Quantity), '単位' (Unit), '単価' (Unit Price), '金額' (Amount), '摘要' (Summary), '備考' (Remarks), and '要素' (Element).

付築	費目/工種/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金額	摘要	備考	要素
69	都市再生分				2,279,261		20 X00	
70	1 基礎整備 -	1	式		234,510		02 Y02	
71	2 施設撤去工 -	1	式		234,510		03 YV9	
72	3 構造物取り壊し -	1	式		62,600		0323 YV9A	
73	4 構造物取り壊し -	1	式	62,600	62,600	明第 0002表	03230[YV9A41] 07	

再積上げの処理選択の画面が出てきますので、[OK] をクリックします。

The screenshot shows the '再積上げの処理選択' (Retest Selection) dialog box. It contains several options for retest selection, with '単価金額を更新(U)' (Update unit price) and '再積上げの度に設定を確認する(K)' (Confirm settings each time retest) checked. The 'OK' button is highlighted with a red box.

再積上げの処理選択

計算を始める前に、再積上げが必要です。
再積上げの設定を確認して下さい。

再積上げの処理選択

- 単価金額を更新(U)
 - 元登録単価(一般単価)の更新(O)
 - 元登録単価(労務、損料)の更新(F)
 - 総括表で設定されている地区に更新(A)
 - 更新する単価を一覧で表示・選択(H)
 - 数量の掛け率を更新(P)
 - 単価の掛け率を更新(Q)
 - 丸め設定を更新(M)
 - 金額を手入力した表も丸めの更新を行う(N)
 - 間接費積上げ費日も丸めの更新を行う(T)
- 再積上げの度に設定を確認する(K)
- 号番号振り直しを行う(*) (G)

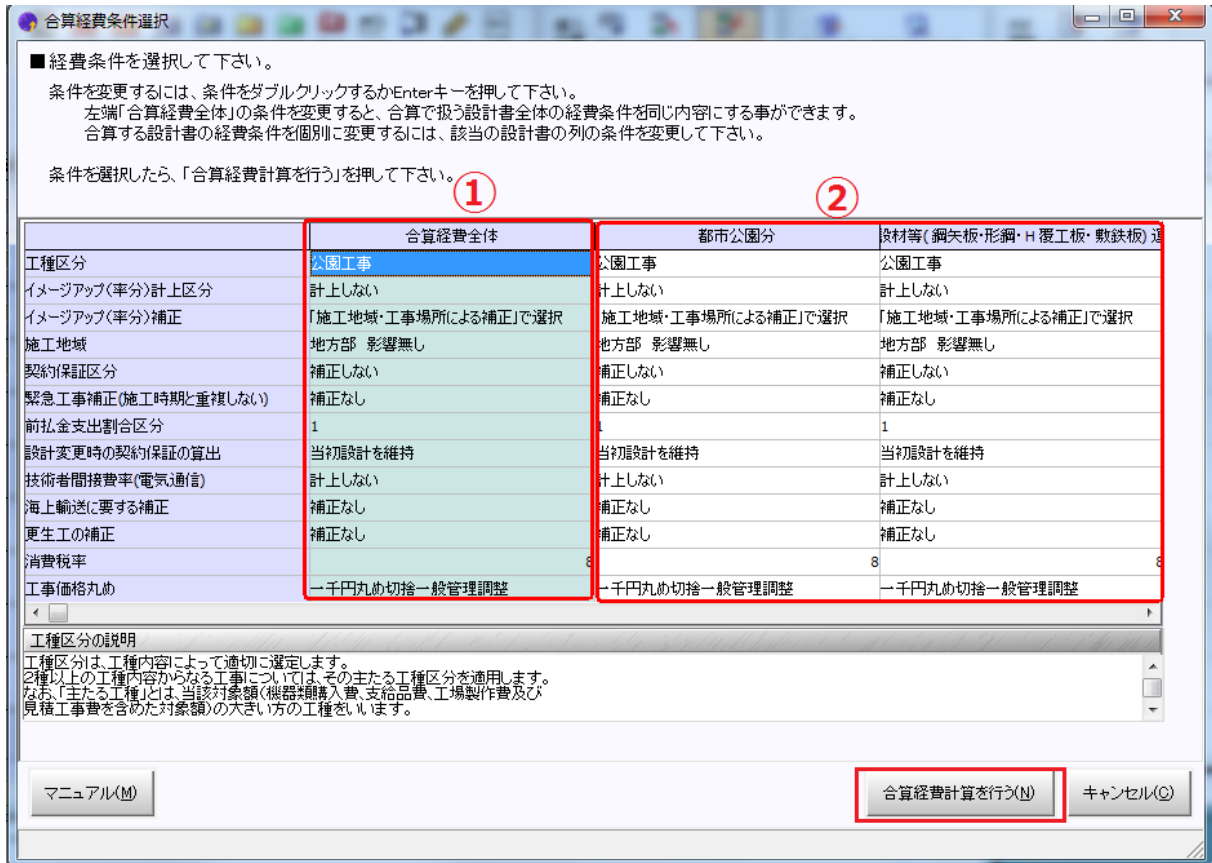
※の設定は保存されません。


Buttons: OK, キャンセル, 環境設定(S)..., ヘルプ(F1), 振直設定(R)...

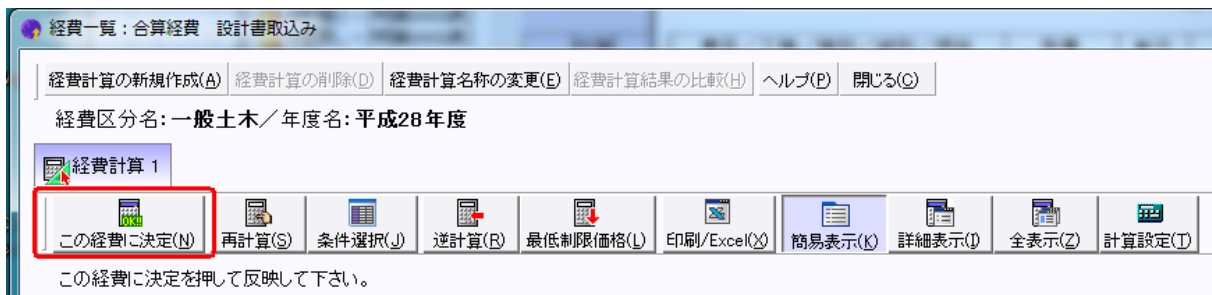
経費の条件選択を行い、合算経費計算を行います。

①の「合算経費全体」の条件を変更すると、各設計書の条件②も連動します。
各設計書ごとに、個別に設定することもできますが、その場合も、①の「合算経費全体」の条件も選択を行って下さい。

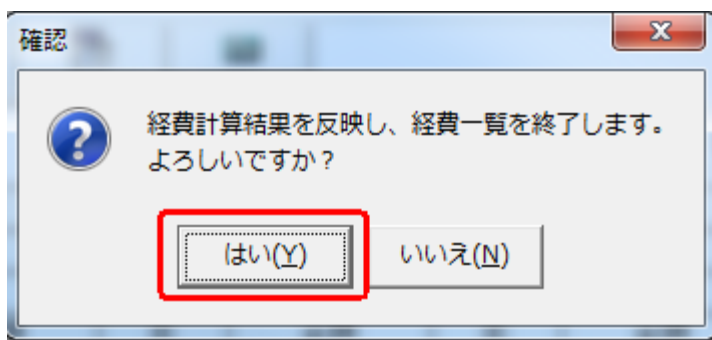
条件設定完了後、[合算経費計算を行う] より経費算出を行います。
算出結果の画面にて「この経費に決定」をクリックすると、合算経費計算結果が本工事内訳書に書き込まれます。



条件選択後、経費計算の画面が出ます。
この画面で経費計算内容を確認します。
緑色で点滅している  をクリックします。



確認メッセージで [はい] をクリックします。



本工事費内訳書の各工事にそれぞれ計算結果が反映され、工事価格（合計）も表示されます。

The screenshot shows a software interface with a menu bar and a table titled "本工事費内訳書" (Main Work Cost Breakdown). The table has columns for "付箋" (Tab), "費目/工程/種別/細別/規格" (Item/Process/Type/Sub-type/Spec), "数量" (Quantity), "単位" (Unit), "単価" (Unit Price), "金額" (Amount), "摘要" (Summary), "備考" (Remarks), and "要素" (Element). The total amount is displayed as "15,296,000" in a red-bordered box, with the label "**工事価格** (合算)".

付箋	費目/工程/種別/細別/規格	数量	単位	単価	金額	摘要	備考	要素
1	都市公園分				5,063,093	10 X00		
2	1基盤整備 -	1	式		1,668,500	0Z YVZ		
					工事価格 (合算)			15,296,000